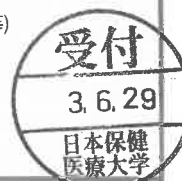


(株)東京リハビリテーションサービス 求人票

令和3年5月

株式会社三輪書店のグループ会社です。介護保険制度成立時から、訪問看護（リハビリ）に携わってきたメンバーが運営に携わっています。

法人名	株式会社 東京リハビリテーションサービス	代表取締役	青山 智・谷 隆博
社員数	社員数：325名 理学療法士：83名（70名） 作業療法士：70名（60名） 言語聴覚士：35名（24名）	看護師：59名（57名） ケアマネジャー：3名（3名） 保育士、介護士、事務職他 *（ ）は正社員 *令和3年5月現在	
就業事業所	各拠点より選択可能	雇用形態	常勤・非常勤(パート)
事業所所在地	・本社：東京都千代田区神田小川町1-8-8 6F ・東京リハビリ訪問看護ステーション：東京都三鷹市牟礼6-13-15 ・東京リハビリ訪問看護ステーションEast：東京都墨田区緑4-29-5 錦糸町若林ビル301 ・東京リハビリ訪問看護ステーション江戸川：江戸川区西小岩3丁目6-15 遊佐商店ビル2F ・東京リハビリ訪問看護ステーション調布：東京都調布市西つつじヶ丘3-37-2 横田ファイブ207 ・東京リハビリ訪問看護ステーション中野：中野区東中野3-16-14 小谷ビル301 ・東京リハビリ訪問看護ステーションキッズ世田谷：東京都世田谷区南烏山5-32-14 アルファビル2 302 ・東京リハビリ訪問看護ステーション板橋：東京都板橋区板橋1-34-7 平島ビル201 ・東京リハビリ訪問看護ステーション練馬：東京都練馬区高野台2-8-2 ・神奈川リハビリ訪問看護ステーションあおば：神奈川県横浜市青葉区2丁目13-3 谷本ビル205 ・東京リハビリ訪問看護ステーション船橋：千葉県船橋市習志野台4-6-16 ・東京リハビリ訪問看護ステーション川口：埼玉県川口市並木4丁目 14 - 14 クレイブ並木 101 ・サテライト小金井：東京都小金井市東町4丁目31番6号 宝ハイツ1F ・サテライト台東：東京都台東区根岸3-18-16水野ビル3F ・サテライト杉並：東京都杉並区天沼3-3-2マンション荻窪405 ・サテライト日本橋：東京都中央区八丁堀2-2-5 宝ビル別館 3F		
職種	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	経験	不問・新卒歓迎
勤務時間	・月～金曜日、午前9時～午後6時 ・週30時間以上勤務なら、週4日勤務でも常勤可能。勤務時間、休日は自由に設定可能。 ・ご自身で勤務時間のスケジュール立案可能(上長の許可が下り次第)		
休日	・週休2日制 ・夏季休暇：7/1～9/30の間で3日間 年末年始：12/30～1/3 ・有給休暇あり		
給与	月給：28万円＋訪問手当(1回20分の訪問が月240回を超えた分より1回当たり1,300円) 通勤手当：月上限2万円		
社会保険	健康保険・厚生年金・雇用保険 ・労災保険 完備	退職金	あり
訪問エリア	居住地を考慮した訪問エリアの選択可能（上長の許可が下り次第ご利用者宅への直行・直帰も可能）		
研修制度	・新入職員研修（訪問看護に関する基礎知識・保険制度・接遇マナー等） ・新卒者を対象とした研修制度あり(OJTマニュアル完備、他職種・小児等の同行訪問、施設見学等) ・各療法士による分科会およびケーススタディを開催 ・外部講師による研修を開催		
その他	・地域で活躍したい！技術を身につけたい！自分のライフスタイルを大切にしたい！方大歓迎です。		
求人受付け窓口	Email：jinji@tokyo-rehabili.co.jp（24時間受付） 電話番号：03-5577-5915（平日9：00～18：00）	担当者	人事 柳谷・横張
採用までの流れ	会社説明をさせて頂いた上で、入社のご意向を伺います。		
本社	東京都千代田区神田小川町1-8-8 VORT神田小川町 6F	ホームページ	https://tokyo-rehabili.co.jp



東京リハビリ訪問看護ステーション 教育研修制度

入職からのながれ

現任者研修(1回/年)

必須研修(6回/年)

成人基礎研修(11回/年)

小児ベースアップ研修(10回/年)

自立した療法士へ！！

配属拠点でセルフマネジメントをおこない
新規依頼を受けていく(6か月～12か月)

配属拠点で所長の判断のもと特定の利用者
を持ちながらOJT・研修(3か月～6か月)

本部にて新入職研修(1～2週間)





新入職研修



【期間】 1週間

【対象】 入職者全員(事務職員等も含む)

【内容】 訪問看護の基礎知識、保険制度、リスク管理、マニュアル説明 等

- 入職後1週間は、訪問看護ステーションの事業内容、それにかかわる保険制度、マニュアル説明など、基礎的なことを、新入職者全員でしっかりと勉強します。

新卒者研修



【期間】 1年間

【対象】 新卒の療法士

【内容】 見学・訪問同行、OJT、症例検討会、各種研修への参加等

- 先輩療法士の訪問同行を何度も繰り返し、訪問リハビリの流れを把握していきます。慣れてきたら特定の利用者を先輩療法士と一緒に担当し、指導を受けながらリハビリを実施し、その都度フィードバックを行います。この期間に在宅療法士に求められる基礎を身に付けていきます。

現任者研修

【時期】 1回/年間

【対象】 全職員

【内容】 前年度の報告・今年度の方針発表(法人、各拠点責任者より)、
貢献度の高い職員の表彰、懇親会 等

- 全職員が一同に会する研修です。

法人全体および各拠点の状況報告や方針等の発表を行います。足並みを揃え、士気高めることが目的です。



必須研修

【頻度】 7回/年

【対象】 全職員

【内容】 法令遵守、熱中症、感染症、認知症、災害時対応、人権、リスク管理

- 全職員が業務を行う上で携えておくべき知識を学びます。固定した7項目について、毎年必須研修にて全職員の知識を最新にアップロードし、サービスの質の担保を図ります。



成人基礎研修

【頻度】 11回/年

【対象】 新卒から3年目までの療法士と、当社で初めて在宅リハに携わる療法士

【内容】 リスク管理、フィジカルアセスメント、疾患別フィジカルアセスメント神経難病・慢性疾患/呼吸器・循環器疾患/中枢系疾患/精神疾患、場面別フィジカルアセスメント(屋外歩行・嚥下訓練)、生活面・環境アセスメント、多職種連携と家族指導、ターミナルケア

- ・ 専門的見地からの評価はもちろん、在宅に必要な判断力と洞察力を身に付けます。

小児ベースアップ研修

【頻度】 10回/年

【対象】 小児リハに興味がある方、始めて1～3年の方（希望者）

【内容】 小児リハの基礎知識を学びます。経験豊富な社内講師(療法士)が指導します。

- ・ 小児リハの訪問ニーズは高まっていますが、地域では小児を担える療法士が不足しています。未経験の方でも小児リハにチャレンジできる環境を整え、地域ニーズに対応しています。

その他にも・・・

- エリア内での症例検討会や、興味のあるスタッフが集まり、有志の勉強会を行っています。また社内の学術集会では積極的に発表したり、外部講師や執筆など自身の経験・キャリアアップを目指して頑張っています。
- 約200名ほどの療法士が所属し、それぞれの得意分野があるため、何人か集まるだけでも有効な情報交換の場となっています！

教育制度

スーパーバイズ制度(SV制度)

- 小児、成人各分野ごとにスーパーバイザーを選出し、経験の少ない療法士の訪問同行を行います。評価やプログラム、方向性を一緒に考え、より適切なリハビリが提供できるようにアドバイスしていきます。

プリセプター制度

- 新人教育では、プリセプター制度を採用。配属先にて約1年間、指導者(プリセプター)が指導役として付き、一貫した指導を行います。
- 1人1人のペースに合わせ、自信がつくまで何度も同行やフィードバックを重ねていきます。

病院研修

- 臨床経験2年目以降の療法士を対象に、約1週間、急性期リハ病棟での病院研修が受けられます。

①在宅に携わる療法士が医療現場の対応基準を理解し、患者に対する基本的な関わり方や急性期におけるリスク管理の在り方を学びます。

②在院日数が数週間の早期リハビリテーションにおいて、全身状態を管理しながら機能改善に取り組む現場を見ることで予後予測の目を養い、さらに思慮深くより良い在宅支援の視点を養います。

③病院から在宅へシームレスな支援のため、医療現場と在宅領域の連携の大切さを学びます。

最後に・・・

訪問リハビリは、病院や施設等と比べ、利用者と関わる場所が離れているため教育・研修制度を整えるのが難しいという現状があります。ただ、訪問でしか学べない事、経験できないこと、療法士としてのやりがいや奥深さがあります！

新卒療法士でも積極的に学ぶ姿勢があれば、技術や経験を身につけている当ステーションで療法士としての経験を積み、自らを成長させながら一緒に地域を支えていきましょう！

東京リハビリ訪問看護ステーション

～新卒入社療法士の声～



H26年度新卒入社
荻原 萌OT

◆出身校：首都大学東京

◆新卒で訪問リハを選んだ理由

学生時代に訪問リハビリを見学した際、病院で獲得された各動作をご自宅で応用できず、ご本人、ご家族ともに身体的精神的に大変だった方にお会いしました。その方は、訪問リハビリや地域サービスを通して、課題を解決し、私がお会いした時は、心も体もいきいきとされ、穏やかに過ごされていました。その時、リハビリ職として、大切な人と、大切な場所(慣れ親しんで過ごしてきたお家)で過ごすお手伝いをする必要性を感じ、それらに寄り添える療法士になりたいと感じたことが、訪問リハビリを選んだきっかけです。

◆東京リハビリ訪問看護ステーションを選んだ理由

尊敬する作業療法士の先生が、私の興味ある分野と訪問リハをしてみたいという気持ちを知り、東京リハを紹介してくださったことがきっかけです。実際に伺ってみたところ、とても丁寧に相談にのってくださり、その相談しやすい雰囲気の魅力を感じて、東京リハビリへのエントリーを決めました。

◆訪問リハのやりがい

ご利用者様、ご家族様の笑顔を見れる時、気持ちを共有できる時、とてもやりがいを感じます。日々、ご利用様やご家族様とお話をしながら、様々な価値観や人生、好きなこと、などを教えて頂き、それがリハビリのヒントになるのはもちろんですが、考えや興味の幅が豊かになることを感じます。

◆訪問リハの大変な点

接する方が、人生の大先輩(高齢者の方)、お母様、お父様、お子さんなので、未熟な私がどんなご提案ができるか、どんな言葉を選ぶか、すごく悩むこともあります。あとは、悪天候の時の移動は、気持ちが折れます^^;

◆新卒や未経験から訪問リハを考えている方へのメッセージ

地域生活を送るうえで、不安を感じている方、リハビリの立場から一緒に考えてほしいと願っている方が、本当に沢山いらっしゃいます。ぜひ、皆様の幸せな生活を願って、一緒に訪問リハビリをしてみませんか？！



H27年度新卒入社
太田 麻衣OT

◆出身校：国際医療福祉大学

◆新卒で訪問リハを選んだ理由

障害を持った方、病院でリハビリを受けた方がどのように在宅に戻り生活をされているのか、病院でのリハビリの成果や方向性は正しいのか。ゴールを知った上で、見通しを立てられるようになりたいと思ったため。また、偏った知識や特定の疾患のみを知るのではなく、幅広く学びたいと感じたため。

◆東京リハビリ訪問看護ステーションを選んだ理由

学校の先生に勧めていただきました。新卒の教育にも力を入れていると、説明であったため。新卒で入職することで保険制度や訪問リハについて時間を掛けて学び、知ることができると思ったため。

◆訪問リハのやりがい

ご利用者様と密に関わり、考えることができます。信頼関係を築く十分な時間があります。多種多様な疾患、個性の方と関わることができます。

◆訪問リハの大変な点

自分の技術や方向性を見直す機会、修正する機会が病院と比較し極端に少ないと思います。常に先輩がついて見てくださるわけでもなく、十分ではない知識で、リハビリを進めていくので、不安になることもあります。また、疾患やレベル、家庭環境が多様なことも難しさのひとつだと思います。相手の生活空間に入っていかななくてはならないので、生活に密着したリハビリを検討できる分、デメリットも多くあると思います。リスク管理も、自分一人で管理・把握しなくてはならないので気を遣っています。

◆新卒や未経験から訪問リハを考えている方へのメッセージ

とても勉強になります。病院では経験できない対応であったり、保険情報も詳しくなります。ただ、周りの目が少ない分、ひとりひとりの責任が重い仕事だとは思いますが。新人に対して、寛容な利用者様もいれば、学歴、年齢、経験など根掘り葉掘り聞いてくる方もいらっしゃいます。時間を惜しまず、自分で知識を掴み取りに行く熱意や行動力があれば、大きく成長できる場だと思います。





H27年度新卒入社
女性PT Nさん

◆出身校：了徳寺大学

◆新卒で訪問リハを選んだ理由

実習で整形外科のクリニックに行っていた際に、お家での過ごし方を問診で聴取していましたが、そこでのリハビリが直接その患者様の生活に結びつくのかという疑問をもったため。

◆東京リハビリ訪問看護ステーションを選んだ理由

小児の訪問リハビリがあるということを知り、地域に根付いたリハビリをしたいと思ったからです。

◆訪問リハのやりがい

機能訓練を行うだけでなく、ご利用者様の現在の身体の状態できることを一緒に考えたり、家具の配置を変えよりよい生活環境が送れるように密に寄り添って関わることです。

◆訪問リハの大変な点

移動手段は自転車が多いため悪天候時の訪問には苦労しています。

◆新卒や未経験から訪問リハを考えている方へのメッセージ

医療機関では実際に行うことができない、生活環境に密に関与させていただくことでそのご利用者様の社会や可能性を広げることができます。やりがいをたくさん感じられる場だと思います。

◆出身校：県立広島大学

◆新卒で訪問リハを選んだ理由

その人の生活場面を実際に見て、どのようなリハビリが必要とされているのか知り、それに合わせてリハビリをしたいと思ったから。

◆東京リハビリ訪問看護ステーションを選んだ理由

- ・見学の時に職場の雰囲気がよく、ここで働きたいと思ったから。
- ・自分でスケジュールの立案が可能だから。(周りの療法士を見ても女性の働きやすい職場だと実感しています)
- ・小児から成人まで幅広い年齢の様々な疾患の方へのリハビリが可能だから。

◆訪問リハのやりがい

- ・在宅でのリハビリでは日常生活で困っていることに対してその場でより具体的なアドバイスができることが魅力です。訪問時間内はしっかりその人だけを見ることが出来るため、お互い心に余裕を持って訓練できます。
- ・地域に貢献していると実感できる点でとてもやりがいを感じます。地域の皆様と一緒に腰痛軽減の体操や回想療法をし、楽しく交流しながら元気な状態を保つポイントをお伝えするサロンにも参加しています。

◆訪問リハの大変な点

- ・毎日の些細な変化に気を配る必要があります。また、病状の変化があった際に関係者としてしっかり連携を取ることが求められます。日頃からチーム医療を意識することが必要です。

◆新卒や未経験から訪問リハを考えている方へのメッセージ

病院や施設とは違い、一人でリハビリをすることが不安だと思いますが、私は訪問リハビリを選んで良かったと思っています。頼れる先輩療法士からサポートを受けながら働くことができ、他の職種からのサポートも受けることができます。自分の職種以外の分野についても自然と学べて楽しいです。皆様と一緒に地域に貢献できれば幸いです。



H28年度新卒入社
垣内 弘美ST





H28年度新卒入社

青崎 健OT

◆出身校：目白大学

◆新卒で訪問リハを選んだ理由

実習で訪問リハを見学し、生活場面でのリハビリに魅力を感じたため。

◆東京リハビリ訪問看護ステーションを選んだ理由

教育体制しっかりしていること。

◆訪問リハビリのやりがい

生活場面での困っていることに対してアプローチしやすく、利用者様の満足に繋がるのでやりがいを感じる。リハビリの内容も自分次第で型にはまっていない。

◆訪問リハビリの大変な点

経験が少ない分、リハビリの内容に関してバリエーションが少ない。リハビリの場面では1人のため、フィードバック等直接的な指導が受けにくい。

◆新卒や未経験から訪問リハを考えている方へのメッセージ

経験が少ない分大変なことは多いと思いますが、訪問リハに強い興味がある方は是非挑戦して欲しいと思います。



H31年度新卒入社

宮下 杏OT

◆出身校：首都医校

◆新卒で訪問リハを選んだ理由

病院見学や実習を通し、リハビリテーションを必要とされる方は皆、安心できる場所・信頼できる支援者がそろって初めて、希望を口に出していけるのだと感じてきました。ご利用者の住み慣れた地域で、自分らしく過ごしていただくためのお手伝いをすることに憧れを抱き、訪問リハビリを選びました。

◆東京リハビリ訪問看護ステーションを選んだ理由

まずは、新卒でも受け入れてもらえる地盤を持った会社を探すところから始めました。その後、説明会や見学を通し、新卒の教育に積極的な部分、地域や他職種を大事にするやり方、希望していた事業所の方々のお人柄などに惹かれ、入職を決意しました。

◆訪問リハのやりがい

生活場面に直接アプローチすることになるので、ご利用者のモチベーションも変化への気付きも、とても大きいものだと感じます。もちろんご本人の日常の努力があってこそですが、変化があった時に喜んでもらえる、自分も一緒に喜べる、そういった時にやりがいを感じます。

◆訪問リハの大変な点

自分が関わっていくのは、ご利用者の表面的な状態やニーズ等にだけでなく、その方が生きてきた人生そのものに対してなのだと、日々気付かされます。取り巻く環境・築いてきた価値観、その方をつくっている全てを考慮した関わりをしていくために、勉強の毎日です。

◆新卒や未経験から訪問リハを考えている方へのメッセージ

“訪問だと一人で利用者様と向き合わなきゃいけない”、というイメージがあるかもしれませんが、まったくそんなことはありません。

実際に働いてみれば、ご本人・ご家族を中心として、様々な職種の方が輪になって関わって合っていることが実感できます。ご利用者一人一人とじっくり関わりたい、自身の専門性を活かしつつ、他職種の視点も学んでいきたい。そのような方には、ぜひ目指してほしい仕事です。



東京リハビリ訪問看護ステーション
TOKYO REHABIL HOMEKANGO STATION



R2年度新卒入社

山田 彩PT

◆出身校：群馬医療福祉大学

◆新卒で訪問リハを選んだ理由

もともと小児領域でのリハビリに興味があり、在宅といったより日常生活に近い環境でリハビリテーションを提供することができるということに興味を持ったからです。

◆東京リハビリ訪問看護ステーションを選んだ理由

子供から大人まで幅広い世代の方々や、様々な疾患の方のリハビリテーションに携わることができると思ったからです。

◆訪問リハのやりがい

より利用者様の生活に寄り添って環境や生活習慣に合わせたリハビリテーションを考えていくことにやりがいを感じます。

◆訪問リハの大変な点

すぐ近くに医師や看護師がいるわけではないので、利用者様の体調変化や転倒といったリスク管理にはより一層気をつけていかなければならないことです。

◆新卒や未経験から訪問リハを考えている方へのメッセージ

利用者様の生活に寄り添っていくことができるため、限られた環境の中で工夫していく力を身につけていくことができとてもやりがいのある領域だと思います。

◆出身校：名古屋学院大学

◆新卒で東京リハビリテーションサービスを選んだ理由

利用者様ひとりひとりの生活を知り、そのうえで療法士として利用者様の役に立てる治療を考えられるようになりたいと思い、志望させて頂きました。また、実習で老人介護施設に行かせて頂いたこと、学生時代に介護の現場でアルバイトをしていたことから、利用者様と距離の近いデイサービスのような空間に魅力を感じるようになりました。そのため、病院ではなくこの会社を選びました。

◆りぶうえる(施設)でのお仕事のやりがい

利用者様と一日を過ごし、利用者様が実際の生活で不便に思っていることに対してどう介入できるかを考える時間は、充実していると思います。まだまだ利用者様を見る視点を養っている最中ですが、やりがいを持って勉強させて頂いています。

◆働いていく中で大変な点

臨床の経験がない状態でデイサービスを利用されるような維持期の方に介入することは想像以上に難しく、四月は利用者様への触り方ですら戸惑う状態でした。沢山のご指導を頂きながら働いていますが、自分で勉強することも少なくありません。ですが、その大変な点にも楽しさを感じています。

◆新卒や未経験からりぶうえるのような施設への就職を考えている方へのメッセージ

新卒の就職はまず病院、と考える方がほとんどだと思います。私も初めはそう思っていました。内定を頂いてからも、周囲の環境との違いに焦ったりしないか、きちんとやっていけるのか不安でした。しかし、実際にりぶうえるに就職させて頂いてから、大学の同期から遅れをとっていると感じたことは一度もありません。

経験豊富な先輩方や、優しい利用者様に囲まれ、自分がやりたかったデイサービスの現場で働けてとても充実した日々を過ごしています。

R2年度新卒入社

N.F PT



東京リハビリ訪問看護ステーション

TOKYO REHABIL HOUMONKANGO STATION



R3年度新卒入社
山本 勢PT

◆出身校 : 高知リハビリテーション学院

◆新卒で訪問リハを選んだ理由

病院の場合、退院後の実際の生活状況に関しては把握しきれない部分が多いと思います。病院でのリハビリは本当にご自宅で活かされているのか。実習などを通してさまざまなことを学ばせていただいた結果、一人一人の生活の場面で、介入することの重要性を深く感じ、訪問リハの道を選びました。

◆東京リハビリ訪問看護ステーションを選んだ理由

整った教育体制、あらゆる分野の研修多数、小児リハの需要も増加傾向であることなどを、学校の求人票やオンライン会社説明会で知ったことがきっかけです。その後実際に事業所見学に伺った際の丁寧な対応、雰囲気がとても魅力的であったため、東京リハビリにエントリーすることを決意しました。

◆訪問リハのやりがい

ご利用者様、ご家族様とより深く関わり合いながら、一人一人の生活場面に合わせたリハビリを提供し、豊かな人生を送るお手伝いができることです。

◆訪問リハの大変な点

疾患ではなく、さまざまな視点からご利用者様の人生に焦点をあて、考えることのできる広い視野を持つことが重要だと感じます。あとは、毎日晴れることを祈りましょう。

◆新卒や未経験から訪問リハを考えている方へのメッセージ

実際、同期の方々は経験豊富な方が多いです。そのような中、新卒や未経験で入るのはとても不安だと思います。しかし、つまりそれは周りには頼れる方々がたくさんいて、さまざまな視点から成長できるチャンスに満ち溢れているということです。何か達成したい目標を持って入職されている方ばかりで、皆さん情熱があります。私は、自分の身を置く環境は大切にしていきたいと考えています。もし、訪問リハに興味のある方がいらっしゃるのであれば、一緒に地域社会に貢献できることを、心から願っています。



R3年度新卒入社
藤原 光国OT

◆出身校 : 彰栄リハビリテーション専門学校

◆新卒で東京リハビリテーションサービスを選んだ理由

学生時代、リハ助手として3年半回復期病院で勤めました。退院後患者様が在宅でどのように生活しているかを知る機会が無く、在宅で支援出来る事があるのではないかと考えたのがきっかけです。

◆新卒で訪問リハを選んだ理由

小児から高齢者、障害をお持ちの利用者様まで、様々な分野の利用者様に接する機会が多い事。また自立型療法士という働き方にとても魅力を感じました。

◆訪問リハのやりがい

現在、先輩療法士と同行し見学させて頂いています。先輩療法士が介入し、利用者様が少しでも楽になり、笑顔を見せてくれた時に私も携わって良かったと感じます。

◆訪問リハの大変な点

- ・介護保険・医療保険などの法制度を理解する事
- ・自分でスケジュールリングし、訪問件数を獲得・維持していく事

◆新卒や未経験から訪問リハを考えている方へのメッセージ

新卒から訪問リハを目指すのは大変だとおっしゃる方もいますが、病院でも訪問でも最終的には自分から学ぶ姿勢があるかないかの違いだと感じます。先輩療法士との同行も多く、現場で覚える事がたくさんできる環境だと思います。



訪問リハビリの見学や会社説明を随時開催しております。
訪問リハビリ分野への就職を考えている方はもちろん、進路
をどうしようか悩んでいる方や、とりあえず見学だけしてみ
たい！という方も大歓迎です。
下記担当まで、お気軽にお問い合わせください。

◆お問い合わせ先

Email : jinji@tokyo-rehabili.co.jp (24時間受付)

電話 : 03-5577-5915 (受付時間平日9:00~18:00)

担当 : 柳谷、横張

